

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第3区分
 【発行日】令和6年12月17日(2024.12.17)

【国際公開番号】WO2023/190630
 【出願番号】特願2024-512639(P2024-512639)

【国際特許分類】
 C 0 9 J 1 3 3 / 0 4 (2 0 0 6 . 0 1)
 C 0 9 J 7 / 3 8 (2 0 1 8 . 0 1)

【 F I 】
 C 0 9 J 1 3 3 / 0 4
 C 0 9 J 7 / 3 8

10

【手続補正書】
 【提出日】令和6年8月29日(2024.8.29)

【手続補正1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(A) エネルギー線架橋性を有さない(メタ)アクリル系樹脂と、(B) エネルギー線架橋性を有するアクリル系樹脂と、を含有する、エネルギー線架橋性粘着剤組成物。

【請求項2】

前記(B) エネルギー線架橋性を有するアクリル系樹脂の含有量が、前記(A) エネルギー線架橋性を有さない(メタ)アクリル系樹脂100質量部に対して、5~90質量部である、請求項1に記載のエネルギー線架橋性粘着剤組成物。

【請求項3】

前記(B) エネルギー線架橋性を有するアクリル系樹脂が、側鎖に、ベンゾフェノン構造を有するアクリル系樹脂である、請求項1又は2に記載のエネルギー線架橋性粘着剤組成物。

30

【請求項4】

前記(A) エネルギー線架橋性を有さない(メタ)アクリル系樹脂のガラス転移温度が0以下であり、且つ前記(B) エネルギー線架橋性を有するアクリル系樹脂のガラス転移温度が0以下である、請求項1又は2に記載のエネルギー線架橋性粘着剤組成物。

【請求項5】

基材又は剥離ライナー上に、請求項1又は2に記載のエネルギー線架橋性粘着剤組成物からなるエネルギー線架橋性粘着剤組成物層を有する、粘着シート。

【請求項6】

請求項5に記載の粘着シートを製造する方法であって、
 前記エネルギー線架橋性粘着剤組成物を、前記(A) エネルギー線架橋性を有さない(メタ)アクリル系樹脂と、前記(B) エネルギー線架橋性を有するアクリル系樹脂と、を溶解混練することによって得て、

40

該エネルギー線架橋性粘着剤組成物を、前記基材又は剥離ライナー上に溶解塗布することによって、前記エネルギー線架橋性粘着剤組成物層を形成する、粘着シートの製造方法。

【請求項7】

請求項1又は2に記載のエネルギー線架橋性粘着剤組成物に、エネルギー線を照射してなる、架橋粘着剤。

50

【請求項 8】

請求項 7 に記載の架橋粘着剤を製造する方法であって、
前記エネルギー線架橋性粘着剤組成物に、エネルギー線を照射する工程を有する、架橋粘着剤の製造方法。

【請求項 9】

基材又は剥離ライナー上に、請求項 7 に記載の架橋粘着剤からなる粘着剤層を有する、粘着シート。

【請求項 10】

請求項 9 に記載の粘着シートを製造する方法であって、
前記基材又は剥離ライナー上に、前記エネルギー線架橋性粘着剤組成物からなるエネルギー線架橋性粘着剤組成物層を形成する工程と、
該エネルギー線架橋性粘着剤組成物層にエネルギー線を照射する工程と、を含む、粘着シートの製造方法。 10

【請求項 11】

前記エネルギー線架橋性粘着剤組成物を、前記(A)エネルギー線架橋性を有さない(メタ)アクリル系樹脂と、前記(B)エネルギー線架橋性を有するアクリル系樹脂と、を溶融混練することによって得て、

該エネルギー線架橋性粘着剤組成物を、前記基材又は剥離ライナー上に溶融塗布することによって、前記エネルギー線架橋性粘着剤組成物層を形成する、請求項 10 に記載の粘着シートの製造方法。 20

30

40

50